



URL http://jcpkoganei.com

市民相談は日本共産党へ

森戸よう子 ☎042-383-0514
東町 5-14-10
水上ひろし ☎042-301-9521
緑町 1-6-7 光ハイツ
たゆ 久貴 ☎042-203-1362
貫井北町 1-25-7-4101

庁舎等建設の直接請求は本請求に問われる住民投票条例の議会の判断

7月1日、庁舎と福祉会館の建設について住民投票条例制定を求める本請求が、請求代表者により行われました。



署名簿を提出する代表

4月から5月にかけて集められた署名3876筆は、5月29日に選挙管理委員会に提出されました。その後、6月17日には選挙管理委員会の精査、縦覧期間が終了し、有効署名数は3584筆(無効署名数283筆)が確認され、有効署名数を超えたため、直接請求が成立してしまいました。

無効になってしまったものの主な理由としては、選挙人名簿に登録がない、重複して署名されている、委任状等に瑕疵がある、住所の記載がないなどがあ

りました。

今後の予定は、7月18日に臨時会が開催され、市長が条例案に対する意見を付けて、市議会に提案されます。

その後7月31日にも臨時

PFAS汚染の対策の強化を横田基地への調査、規制の強化、血液検査など求める

日本共産党のたゆ久貴市議は、6月の第二回定例会の一般質問で、繰り

返しPFASの対策の強化を求めました。

全国各地でPFAS(有機フッ素化合物)汚染が明らかになり、PFASが健康被害をもたらす原因物質として注目され、不安が広がっています。正しく恐れて、しっかりと防御して、汚染源を突き止め流失を食い止めることが重要です。

たゆ久貴市議は「国や東京都の取り組みだけでなく市としてできることを行うべき」「報道で米軍横田基地での漏洩が明らかになってきている。立ち入り調査を求めるべき」「世界的に規制強化が進んでいる。しかし、日本の食品安全委員会がまとめた案

時会を開催し、条例制定の請求代表者による意見陳述が行われます。議会で質疑が行われた後に採決になる予定です。

市政の主役である市民

題に関して、市民の意見を聞くことを求めた直接請求は尊重されるべきものです。市議会の議決が注目されます。

庁舎と福祉会館建設 直接請求結果報告集会

【日時】 7月15日(祝・月) 14時~16時

【場所】 市民会館A会議室

主催 庁舎と福祉会館の建設を考える会

では、PFOSとPFOAについて、耐容1日摂取量をそれぞれ体重1キログラム当たり20ナノグラムとしている。この通り摂取し続けると血中濃度は欧米の勧告値の十数倍になる。世界では健康が懸念されるレベルが日本では安全だとされるということは問題である。強い基準を求めるべき」「血液検査、汚染の調査及び除去など市独自に取り組むべき」と求めました。

市は「国や東京都に求めて行く」「国の動向を注視し、関連部署とも連携を図っていく」と答えました。

自由な時間が十分にあったらどんなに豊かになるでしょうか。「自由な時間」をテーマにした講演を、日本共産党の志位議長が6月25日に行いました。ユーチューブで配信しています。語られた内容を少しだけ紹介します。マルクスとエンゲルスは「人間の自由で全面的な発展」を一貫して未来社会の最大の目標としてきました。時間は、諸能力などの発展のための余地(場)、自由に処分できる時間は真の富だと述べています。社会に一切の搾取がなく、浪費がなくなれば、労働時間の抜本的な短縮が可能になり、人間の全面的な発達のための時間が万人のものになるという展望を示した、と述べられました。

企業献金や裏金によって政治がゆがめられてきました。労働者を安く長く使い捨てている働かせ方を変えていきたいです。(たゆ久貴)

社会教育施設は、全ての市民に保障されるべき日本共産党 公民館の有料化は行うべきではない

白井市長は、行財政改革2025の取り組みとして、公民館の使用料の有料化を進めています。

市の説明によると、公民館の有料化検討については、アクションプラン2020の継続取組とされ、団体使用未利用時間の有料化について、その効果等を再度検証する中で、未利用時間に限定しない有料化の方向性について、公民館運営審議会において協議していくと

しています。減免の対象をどのようにするのか、ということも含めて議論するとしています。

日本共産党のたゆ久貴議員は「公民館の有料化に反対である。有料化は行うべきではない」「お金のあるなしで利用できるかできないかが変わってしまう。利用抑制につながる。社会教育という意義を考えれば、逆行するものだと言わざるを得ない。」と求めています。

市は「行財政改革2025とか、アクションプラン2020からの継続として取り組んでいるので、理解いただきたい」と答えています。

公民館などの社会教育施設は、全ての市民に保障されるべきもので、財政効果を生み出すという見方自体が間違っている。いつでも誰でも利用できる公民館であるべきです。



自由な時間が十分にあったらどんなに豊かになるでしょうか。「自由な時間」をテーマにした講演を、日本共産党の志位議長が6月25日に行いました。ユーチューブで配信しています。語られた内容を少しだけ紹介します。マルクスとエンゲルスは「人間の自由で全面的な発展」を一貫して未来社会の最大の目標としてきました。時間は、諸能力などの発展のための余地(場)、自由に処分できる時間は真の富だと述べています。社会に一切の搾取がなく、浪費がなくなれば、労働時間の抜本的な短縮が可能になり、人間の全面的な発達のための時間が万人のものになるという展望を示した、と述べられました。